

中間報告

1 平成22年度研究主題

「わかる、できる、楽しい授業をめざして」
～個に応じた指導の工夫～

2 主題設定の理由

本校は教育目標を、次のように掲げている。

知・徳・体の調和がとれ、自らに誇りをもって、心豊かにたくましく生きぬく生徒を育成する。

「知・徳・体の調和がとれる」生徒を育成するためには、規範意識を高めることと気力の充実を図るとともに、基礎的・基本的な学習内容の確実な定着が必要である。それが、「自らに誇りをもつ」ために必要な、「自分の価値観や考えを、他者との交流の中から見つめ直し、正しく判断し、行動すること」や、「心豊かにたくましく生きぬく力」すなわち、「覇気と気力に満ち、学習や、行事、部活動において、積極的に行動できる」ことへもつながっていくと考える。

本校の生徒は、比較的明るく、素直で、良い面を多く持ち合わせている。そのため、学校全体が比較的落ち着いた状態にある。平成21年度本県「基礎・基本」定着度調査の分析結果を見ると、各教科とも本県及び本市の平均を上回ってはいるが、個人の定着度の差は大きく、個に応じた指導の工夫と、家庭学習の充実が必要である。そこで、本年度の研究主題を「わかる、できる、楽しい授業をめざして」、副主題を「個に応じた指導の工夫」とし、生徒が積極的に授業や家庭学習に取り組み、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得できるような指導の工夫を行うこととした。

3 研究の視点

- (1) 各教科及び特別支援教育における基礎的・基本的な知識・技能の習得のための工夫
- (2) 研究テーマに関する個人テーマと具体策の作成と実践
- (3) 学習意欲の向上と学習習慣の確立

4 研究の全体計画

(1) 研修の努力点及び具体策

努力点

教師の資質向上のための、校内研修や校外研修の充実に努める。また、研究テーマに基づき、全体・学年・各教科及び特別支援教育で指導の充実を図る。

具体策

- ア 校内研修の充実
- イ 学年部会・教科部会の充実
- ウ 生徒指導についての事例研修等
- エ 研究テーマに沿った実践を通じた研究とそのまとめ
- オ パソコン研修と活用の促進
- カ 標準学力検査や「基礎・基本」定着度調査の活用方法についての研修の実施
- キ 先進校視察や教育教育センター等の教育機関を利用した研修の促進

(2) 研修計画

月	研修項目	内容
第1回	生徒理解	生徒指導留意生徒の確認
第2回	小中連携部会	主題「小中連携の視点でとらえる確かな学力の育成と生徒指導の在り方」
第3回	学力分析、個人テーマについて、特別支援教育	NRT 分析結果、個人テーマに対する具体策、特別支援教育について
第4回	情報教育	情報機器を用いた教育について
第5回	教育課程、人権同和教育	人権同和教育について

5 研究の実際

(1) 校内研究テーマに基づいた、個人テーマとその具体策

【国語】	<p>【テーマ】 「書く」、「読む」力をつけるための指導法の工夫</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>【具体策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習目標の提示と明確化 ・基礎・基本の定着のための小テストの実施 ・初発・読後の感想や作文指導の充実 ・文章構成など、読み取りの仕方を順序立てて学ばせる。 ・ノートやワーク等の見届けと点検
【国語】	<p>【テーマ】 読みを深める授業の工夫</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>【具体策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読みを深める言語事項の徹底 (漢字小テスト全員八割、重要語句の意味調べ) ・ポイントをしばった読み取りを行う。 ・心情の読み取りを増やす。 ・苦手な説明文で指示語を意識した読み取りを行う。
【国語】	<p>【テーマ】 課題を明確にした授業の工夫</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>【具体策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の1時間で学習する課題を生徒一人一人が明確にし、解決または理解が図られるような目標を立てる。 ・確認テスト、小テストの実施 ・生徒の表現活動の作品掲示(相互評価)

【社 会】	<p>【テーマ】 わかる授業を通じて基礎学力の定着を目指す</p> <hr/> <p>【具体策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「技能・表現」、「思考・判断」の力を身につけさせるための発問の工夫 ・小テストの継続
【社 会】	<p>【テーマ】 子どもの興味・関心に即した教材・教具の工夫をして、基礎学力をつける</p> <hr/> <p>【具体策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材、教具の工夫 ・単元末テストの実施
【数 学】	<p>【テーマ】 基礎・基本の定着を図り学力向上を目指す</p> <hr/> <p>【具体策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノートのとり方や復習の仕方について丁寧に指導し、ノートチェックもこまめにする。 ・毎時間の小テストを実施する。
【数 学】	<p>【テーマ】 進んで学びに向かう生徒の育成</p> <hr/> <p>【具体策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が学習内容をつかめる学習目標や学習課題の工夫を図る。 ・「聴くとき」、「書くとき」の分別をしっかりとさせる。 ・過程を重要視させ、途中の計算等をしっかりと書かせる。 ・小テストやドリルを活用し、定着を図る。 ・プリントやワークを活用し、家庭学習を充実させる。
【数 学】	<p>【テーマ】 計算力の向上</p> <hr/> <p>【具体策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正・負の数の四則計算小テスト実施 ・個別指導の時間を確保
【数 学】	<p>【テーマ】 習熟度別少人数指導の効果的な方法研究、実践</p> <hr/> <p>【具体策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎時間の小テストを継続して行なう。(1、2年の復習、前時までの復習、定着) ・図形の領域に入るのので、性質や定理を確認しながら、どう活用するか視覚的な教材、教具を準備し利用する。
【数 学】	<p>【テーマ】 基礎・基本事項の定着を図り、応用する力につながる授業</p> <hr/> <p>【具体策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定理や性質の理解・定着を確実にし、それを用いて様々な問題が解けるようにする。 ・小テストを通し、1・2年の復習、前時の学習の確認を行う。
【理 科】	<p>【テーマ】 興味・関心を喚起し、基礎学力の向上をめざして</p> <hr/> <p>【具体策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学時に学習した内容を、授業の導入部分で、確認の意味で取り扱うことで、中学校の学習への取りかかりを円滑にできるようにする。 ・基礎学力を向上させるために、ワークを用いた問題演習や、理解力を確認するための小テストを、小単位ごとに実施する。

【理 科】	【テーマ】 身近な事象や現象を科学的に捉えられるような授業をつくるにはどのような工夫が必要か
	【具体策】 ・実験や観察における目標の把握、方法の把握等できるよう、可能な限りワークシートを用意する。 ・結果を基に考察を行う練習をする。考察から見つけ出された規則性を知識に結びつけられるように支援する。 ・板書を丁寧に書く。 ・小テストを通して、重要語句等の確認を行う。 ・練習問題を通して、解答力を身につけさせる。

【理 科】	【テーマ】 科学的な思考力を高めるための指導法の工夫
	【具体策】 ・実験・観察を重視した授業の展開を推進する。 ・科学的な思考力を向上させるために、実験・観察データを読み取り、結果をまとめたり、グラフ化したりする練習を日常的にさせる。 ・基本的な用語や語句の定着を図るための小テストの実施 ・ノートやワークの定期的な点検指導をする。

【英 語】	【テーマ】 実践的コミュニケーション能力の育成を目指した教科指導の工夫 ~音読・書くことを中心に~
	【具体策】 ・学習への見通しをもたせ、毎時間の到達目標を設定する。 ・授業の中に基本文のドリルの時間を設け、英作文に取り組む。 ・生徒一人ひとりに2学期の宅習目標を設定させ、家庭学習の定着を図る。

【英 語】	【テーマ】 少人数指導を通じた基礎・基本の定着
	【具体策】 (発展コース) ・小テストを継続し、基本文・単語の定着を図る。 ・まとまりのある英文を聞いたり読んだりして内容を理解し、それに対する自分の意見が簡単な英語で言えるような指導及び教材・教具の工夫 ・相手に伝えたいことを正確に話したり、書いたりできるように指導及び教材・教具の工夫 (基礎コース) ・小テストを継続し、基本表現や単語の定着を図る。 ・本文を暗唱させ、発表させる。 ・一単位時間の導入部分で、英語で簡単な対話をさせる。(ワークシートを作成)

【英 語】	【テーマ】 重用表現を繰り返し復習させ、基礎・基本の定着を図る
	【具体策】 ・ウォームアップで既習表現を用いた言語活動や小テストを行う。 ・暗唱やペアワーク等で発表する機会を作り、言語活動の充実を図る。 ・英作文の練習を ALT と協力して行い、書く力がつくように工夫する。

【英 語】	【テーマ】 基本的文法の定着と主体的発展的な練習への取組
	【具体策】 ・小テストによる1、2年既習の文法の定着 ・ペアやグループ活動での会話練習 ・日記やカード等による英作文の作成 ・長文読解の時間短縮

【音 楽】	<p>【テーマ】 主体的に音楽活動に取り組み、楽曲を楽しみ味わう中で、美や豊かな表現を追求する態度を養う</p> <hr/> <p>【具体策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・板書の工夫 ・視聴覚教材の作成 ・一斉指導と個別指導、グループ活動のバランスを考えた授業形態の工夫 ・内容に深みのある、また生徒のレベルにあった教材の発掘
【美 術】	<p>【テーマ】 個性を生かした、魅力的な作品を創る授業を目指して</p> <hr/> <p>【具体策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クロッキーの充実 ・アイディアスケッチの工夫 ・鑑賞活動の充実
【技術・家庭】	<p>【テーマ】 具体的に提示できる教材・教具の工夫</p> <hr/> <p>【具体策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木材加工における加工過程の図示をする。 ・視聴覚機器を活用した指導を行う。 ・効果的に理解させることで、作業時間を確保し、製作技術の向上を図る。
【技術・家庭】	<p>【テーマ】 生活の問題を解決する実践的・体験的な授業の工夫</p> <hr/> <p>【具体策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手縫いの基礎技能の習得（トラベルポーチの完成） ・ワークシートによるめあて、基礎事項、実践の工夫、自己評価の記入 ・生活への実践化の課題の追求 ・教材・教具の製作
【保健体育】	<p>【テーマ】 生徒が主体的に運動に取り組める指導の在り方を考える</p> <hr/> <p>【具体策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業のしつけや流れを身につけさせる。 ・学習形態の工夫に努める。 ・運動量の確保に努める。 ・授業の中での助言や賞賛など声かけを積極的に行う。 ・自己評価カードや班カードを作成し、記録を取らせることで、学習意欲を高めさせる。
【保健体育】	<p>【テーマ】 楽しく積極的に体を動かす体育の授業</p> <hr/> <p>【具体策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育大会での積極的な取り組み ・選択制を生かした楽しい授業
【特別支援教育】	<p>【テーマ】 個々の教育的ニーズに応じた特別支援教育の実践</p> <hr/> <p>【具体策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別の指導計画の作成 ・どのような支援を行えばいいのか、子どもの実態把握を行う。 ・教育的ニーズを把握し、日々の授業に生かす工夫を行う。 ・板書の工夫、個別指導 ・教材の工夫 等

【特別支援教育】	<p>【テーマ】 特別支援教育支援員（サポーター）としての役割を十分理解し、関係の先生方と連携を取りながら、対象となる生徒の支援をより良い方法でできるようにしていく。</p>
	<p>【具体策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科担任の先生との打ち合わせを大切にする。（学習内容について、生徒の様子、支援の仕方に対する要望や課題など） ・支援対象の生徒だけでなく、まわりの生徒への配慮（声かけ、支援する際の位置等）、担当の先生方に相談しながら臨機応変に行う。 ・報告、連絡、相談を忘れずに行う。

（２） 実践例（研究授業：技術、国語）